

## 令和3年度平戸市美術展覧会 審査講評

画(一般)の部

審査員氏名( 一瀬 章雄 )

平戸市美術展の審査に初めて参加させていただきました。

じっくり描き込んだレベルの高い作品が多かったことに驚きました。

絵のテーマも平戸らしい身近なものから独創的なものまで幅広く関心の高さを感じました。

平戸市長賞の「侵蝕」は圧倒的な描写力で侵蝕された岩肌を表現し、抽象的な美しさもある力強い作品です。

平戸市議会議長賞の「擬態」は、細密に描かれた木目の中にヤモリが隠れているように配置され、それをかぶられていないお面を通して人間の目を感じさせる個性的な作品です。

色数は少ないですが、豊かな色彩の美しい作品でもあります。

## 令和3年度平戸市美術展覧会 審査講評

画(小中学生)の部                      審査員氏名( 妻夫木 敏明 )

コロナ禍において、学校生活にも様々な制限がかかり、作品制作に影響がある中で、児童生徒のみなさんや先生方の指導される熱意が伝わってくる作品が多く、大変嬉しく思いました。

それぞれの作品には、子どもたちの意図するものが、視点や構成を工夫し、豊かな色彩で表現され、見ている作品の中に引き込まれていくような魅力を感じました。

平戸市教育長賞の作品は、透視図法をうまく生かして、画面の構成を高め、落ち着いた色調や、ていねいな描写力に強いインパクトを感じました。

平戸市教育会長賞の作品は、コロナ禍でマスクをした人物を中心に、イメージするものを巧みな筆致で描き込み、特に目の横に筆跡を入れた構成力は素晴らしく、中学生の心象風景がとてもうまく表現できていてレベルの高さを感じました。

水彩、版画、コラージュ、ステンシルなど幅広い技法を使用した作品が多かったのも印象に残りました。

これからもみなさんが意欲的に作品制作にチャレンジされることを期待しています。